

氏名	桑 元 久 美 子		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学位授与番号	甲 第 3 3 6 号		
学位授与の日付	昭和45年 3 月31日		
学位授与の要件	医学研究科外科系眼科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)		
学位論文題目	血液網膜柵の透過性について		
論文審査委員	教授 西 田 勇	教授 福 原 武	教授 小 川 勝 士

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

近年蛍光眼底撮影法が血液網膜柵の研究に用いられるようになってきた。フルオレセイン(FI)では蛍光の所在を組織学的に追求することがむづかしいので、アクリジンオレンジ(AO)を使い、蛍光眼底撮影と同時に組織学的にも追求した。

第1報では、AO及びFI、蛍光眼底写真を比較し、AOは主として網膜の蛍光をあらわす所見をえた。第2報では、変性網膜についてAO蛍光眼底写真がFIによるものより網膜の変性過程を詳しく表現することを示した。第3報では、AOが組織中で放つ蛍光は、核酸及びその分解産物、特にプリン核で増強されたAOの蛍光によることを明らかにした。第4報では、AO蛍光眼底写真の蛍光は主として網膜、特に内外顆粒層の蛍光であることを蛍光顕微鏡を用いて組織学的に追求した。以上、実験的にAOを用いるならば、蛍光眼底写真による眼底病変解読の手がかりがえられることが判明した。

第1報：昭和43年8月 日本眼科学会雑誌 第72巻第8号に掲載

第2報：昭和44年5月 日本眼科学会雑誌 第73巻第5号に掲載

第3報：昭和44年11月 日本眼科紀要 第20巻第11号に掲載

第4報：昭和45年2月 日本眼科紀要 第21巻第2号に掲載予定

論文審査の結果の要旨

本研究は、蛍光眼底撮影法の唯一の蛍光物質であるフルオレッセインの他にアクリジンオレンジも実験的には十分用い得るもので、これが核酸に特異的に結合する所から蛍光眼底像を組織像と結びつける新しい可能性を発見したもので、価値ある業績と認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。